

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	02	104010	小中学校学区再編成等調査事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		38	1,157		1,119
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	38	1,157		1,119

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	~	令和5年度
------	-------	------	-------	---	-------

部重点施策における目標

教育環境を充実する

事業開始の背景・経緯
 少子化の影響を受け、児童生徒数の減少が進み、学校の小規模化、複式学級の出現など地域の状況により、学校規模、学習環境がアンバランスな状態であることから、学校規模の適正化を図り、活力ある教育環境を整える。

事業概要

有識者会議の開催 74千円
 有識者で構成する保育教育環境検討会議において、望ましい保育教育環境の構築のための意見を聴取
 教育懇談会の開催 40千円
 各校のPTA等を対象とし、望ましい教育環境の構築について意見交換
 内川目小学校・亀ヶ森小学校閉校式典等の開催 1,043千円
 内川目小学校・亀ヶ森小学校の閉校式の開催、閉校記念事業への補助、統合に伴う備品移設

担当部署	51100000 教育委員会 教育企画	担当課長	小原 賢史
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況
 ・平成30年度第2回教育振興審議会・平成30年度第1回保育教育環境検討会議
 ・令和元年度第1回花巻市議会定例会一般質問・令和元年度第2回花巻市議会定例会一般質問
 ・令和元年度笹間地区統一要望・亀ヶ森地区の子供たちの教育環境について考える会・教育懇談会

事業手法の詳細 1

- 有識者会議の開催 74千円
 保育園・幼稚園・小中学校児童生徒の保育・教育環境について課題を共有し、園や学校の在り方について検討する会議を開催。
 ・謝礼金 44千円
 保育教育環境検討会議委員謝礼 4,000円×11人×1回
 ・費用弁償 16千円
 保育教育環境検討会議委員費用弁償
 ・食糧費 1千円
 会議出席者用お茶代
 ・通信運搬費 13千円
 委員あて会議開催通知・資料送付
- 教育懇談会の開催 40千円
 各学校の現状や諸課題を認識することにより、教育環境の充実、活力ある教育環境の創出を図る。
 ・資料作成に係る消耗品費
- 内川目小学校・亀ヶ森小学校閉校式等の開催 1,043千円
 令和3年4月より大迫小学校、内川目小学校、亀ヶ森小学校が統合。これに伴う閉校式典の開催（亀ヶ森小学校閉校式：R3.3.20、内川目小学校閉校式：R3.3.21）、備品の移設等を実施。
 ・内川目小学校・亀ヶ森小学校閉校式典に係る消耗品・印刷製本費 53千円
 ・内川目小学校・亀ヶ森小学校閉校式典に係る看板作成業務委託料 46千円
 ・内川目小学校・亀ヶ森小学校備品等移設業務委託料 744千円
 ・亀ヶ森小学校閉校事業補助金 200千円

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	02	104010	小中学校学区再編成等調査事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	02	104020	私立高校振興事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		3,240	3,240		0
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	3,240	3,240		0

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	~	令和2年度
------	-------	------	-------	---	-------

部重点施策における目標

教育環境を充実する

事業開始の背景・経緯

私立高校は公教育の一環を担うという大きな役割を果たしてきており、市として私学の自主性を尊重しながら、私立学校の教育条件の維持、向上をはかるため私立高校への助成を行ってきた。

事業概要

私立高校振興事業補助 3,240千円
私立高校の振興に対する補助金交付

担当部署	51100000 教育委員会 教育企画	担当課長	小原 賢史
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

・平成28年第3回花巻市議会定例会において「私学教育の充実・発展を求めること」の請願あり 一部採択

事業手法の詳細1

1 私立高校振興事業補助金 3,240千円

(1) 事業目的
学校教育における私立高校の果たす重要な役割に鑑み、経営健全化及び教育環境整備の充実を図ることにより、もって本市教育の振興に資するため補助金を交付。

(2) 事業内容
対象学校 花巻東高等学校
補助金額 3,240千円(4,500円×生徒定数720人)
補助内容 運営費補助
補助金交付基準 定額

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	02	104020	私立高校振興事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	02	104040	奨学金活用人材確保支援事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		288	300		12
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	288	300		12

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	~	令和2年度
------	-------	------	-------	---	-------

部重点施策における目標
教育環境を充実する

事業開始の背景・経緯
花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略を進めるうえで、奨学金制度を有効に活用した事業実施の検討が必要になったため。

事業概要
ふるさと保育士確保事業補助 169千円（需用費10千円、通信運搬費6千円、補助金153千円） 市内認可保育園で勤務している保育士に奨学金の返還金の半額を補助
ふるさと奨学生定着事業補助 131千円（需用費9千円、補助金122千円） 市内大学を卒業後に市内に居住している者に奨学金の返還金の半額を補助

担当部署	51150000 教育委員会 学務管理	担当課長	八重畑 亘
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1

- 奨学金活用人材確保事業 R2 300千円（R1 288千円 前年度比 + 12千円）
- ふるさと保育士確保事業補助 R2 169千円（R1 182千円 前年度比 13千円）
対象者4名（内訳 継続3名、新規1名）
 - ・需用費 10千円
 - ・通信運搬費 6千円
 - ・補助金 153千円
 - ふるさと奨学生定着事業補助 R2 131千円（R1 106千円 前年度比 + 25千円）
対象者3名（内訳 継続2名、新規1名）
 - ・需用費 9千円
 - ・補助金 122千円

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	02	104040	奨学金活用人材確保支援事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	02	104800	はなまき夢応援奨学金事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		506	49		-457
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	506	49		-457

特定財源の内訳					

事業期間		単年度繰返		期間限定	令和2年度 ~ 令和5年度
------	--	-------	--	------	---------------

部重点施策における目標
教育環境を充実する

事業開始の背景・経緯
「返還義務のない奨学金について」の市長へのはがきを契機に、貧困の連鎖を解消する一助になればと考え自立に向けた支援が必要な方への奨学金制度の構築を行うこととなった。

事業概要
はなまき夢応援奨学金 49千円 生活保護世帯、児童養護施設入所者、ひとり親家庭で非課税世帯、特別支援学校高等部在籍者、日本学生支援機構給付奨学金採択者（R3より適用）のいずれかに該当し、高等学校などを卒業後、大学・短期大学・専修学校専門課程等に進学し、卒業後に市内に居住する意思を持つ者に対し、学資金として月額20,000円を貸与する。 また、卒業後市内に居住する場合は返還を免除する。ただし、転出している期間については、返還を要する。

担当部署	51150000 教育委員会 学務管理	担当課長	八重畑 亘
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況
H28.10.20市長へのはがき「返還義務のない奨学金について」

事業手法の詳細1
<p>1. はなまき夢応援事業 R2 49千円（R1 506千円 前年度対比 457千円） (1) 消耗品費 20千円（R1 20千円 前年度対比 0千円） (2) 通信運搬費 29千円（R1 6千円 前年度対比 +23千円） (3) 繰出金 0千円（R1 480千円 前年度対比 480千円）</p> <p>【奨学金を借りて進学を希望し、卒業後は市内に居住を希望する要自立支援者】 生活保護世帯の学生 児童養護施設入所者であった学生 ひとり親家庭で非課税世帯の学生 特別支援学校高等部卒業の学生 日本学生支援機構給付奨学金採択者（R3より適用）</p> <p>奨学金を貸与 奨学金基金から貸与し、同額を一般会計から繰り入れる</p> <p>大学等卒業後に市内に居住すると全額免除 転出した場合は返還</p>

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	02	104800	はなまき夢応援奨学金事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	02	104890	岩手県立大迫高等学校生徒確保対策事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		4,537	6,262		1,725
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	4,537	6,262		1,725

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	~	令和5年度
------	-------	------	-------	---	-------

部重点施策における目標
地域が主体となった個性あふれる地域づくりを支援します。

事業開始の背景・経緯
岩手県立大迫高等学校は、大迫地域唯一の後期中等教育機関であり「地域とともに歩む大迫高校」が、地域の活性化に果たす役割が大きい。新入学者21人以上という存続要件を満たすための入学者増に資する事業を展開する。

事業概要
高校生おおはさま留学生の受け入れ 4,665千円 高校生おおはさま留学生の受け入れ 2人（継続：1人・新規：1人） 岩手県立大迫高等学校生徒確保対策協議会事業補助 1,597千円 生徒確保通学費補助 40人

担当部署	22290000 大迫支所 大支(教育)	担当課長	高橋 哲也
------	----------------------	------	-------

意見・要望等の状況
地域住民や各団体から大迫高等学校の存続を求める声がある。また、支所市長執務においても岩手県立大迫高等学校生徒確保対策協議会から、大迫高等学校生徒確保に対する支援の要望などが出ている。

事業手法の詳細1
岩手県立大迫高等学校生徒確保対策事業 6,262千円 1. 高校生おおはさま留学生の受け入れ 4,665千円 高校生おおはさま留学生の受け入れ 2人（継続：1人・新規：1人） 高校生おおはさま留学生に係る経費 4,665千円 (1) 謝礼 115千円 ・報償費（生活支援員謝礼）3,500円×延べ33日（2人）= 115,500円 (2) 需用費 143千円 ・印刷製本費（募集チラシ）1,000枚×130円×1.1 = 143,000円 (3) 委託料（2人分） 4,407千円 ・人件費（寮長・調理員） 8,000円×30日×12月 = 2,880,000円 ・寮費（寮費） 44,400円×12月×2人 = 1,065,600円 ・備品費（ハイベット（ロフト）・机・いす・ワードローブ・チェスト） 60,400円×1人 = 60,400円 4,006,000円×1.1 = 4,406,600円 《参考》 高校生おおはさま留学生に係る保護者負担 480千円 ・寮費（食費1人当たり） 40,000円×12月 = 480,000円 2. 岩手県立大迫高等学校生徒確保対策協議会事業補助 1,597千円 生徒確保通学費補助 40人 岩手県立大迫高等学校生徒確保対策協議会事業に係る経費 1,597千円 生徒確保通学費補助 3,384円（5分の1以内）×延べ472月（40人） = 1,597,000円

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	02	104890	岩手県立大迫高等学校生徒確保対策事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104070	学校安全確保事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		479	457		-22
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	306	304		-2
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	173	153		-20

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返		期間限定	~
------	--	-------	--	------	---

部重点施策における目標

教育環境の充実

--	--	--	--	--	--

事業開始の背景・経緯

登下校時における児童生徒が被害者となる事件・事故を未然に防止するためには、家庭や地域の関係機関との連携が不可欠であることから、この事業を開始した。

事業概要

学校安全体制整備 457千円
 スクールガード・リーダーによる巡回指導 280回
 スクールガード養成講習会の実施 3回

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	佐々木 健一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

登下校中の児童生徒の安全については、市政懇談会でもたびたび懇談テーマとして取り上げられており、市民の関心が高い。

事業手法の詳細 1

1 学校安全確保事業 457千円

【スクールガードリーダーによる巡回指導・養成講習等の実施】

支援

校内の安全確保に係る助言・指導
 各地区のスクールガードによる登下校中の見守り

成果

児童生徒の安全確保

(1) 学校安全体制整備 457千円

スクールガードリーダー報償費 435,600円
 スクールガードリーダー保険料 21,540円

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104070	学校安全確保事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104160	教科用図書採択事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		1,692	30,893		29,201
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	1,692	30,893		29,201

特定財源の内訳					

事業期間		単年度繰返		期間限定	~
------	--	-------	--	------	---

部重点施策における目標

教育環境の充実

事業開始の背景・経緯

教科用図書の採択を円滑に進める必要があるため、2市1町で構成する花巻・北上地区教科用図書採択協議会へ負担金を支出する。

事業概要

教師用教科書及び指導書の購入 30,693千円
 令和2年度から使用される小学校全教科の教師用教科書及び指導書等を購入
 花巻・北上地区教科用図書採択協議会負担金 200千円
 令和2年度に中学校全教科の教科書の採択が行われることから、花巻・北上地区教科用図書採択協議会に負担金を支出

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	佐々木 健一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

教科用図書採択事業 30,893千円

- 教科用図書及び指導書の購入 30,693,437円
- 花巻・北上地区教科用図書採択協議会負担金 200,000円

【事業概要】

「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」の定めにより、4年に一度教科用図書の採択が行われるのが通常だが、R2年度に新小学校学習指導要領が施行、R3年度に新中学校学習指導要領が施行されるため、それぞれ前年度に教科書採択を行う必要があることから、花巻・北上地区教科用図書採択協議会への負担金を支出する。
 併せて、採択後における教師用教科書及び教師用指導書の各学校への配布を行う。

【採択スキーム】

- 5月 花巻・北上地区教科用図書採択協議会（各市町教育長、担当課長ほか）
- 6～7月 教科用図書研究会議（各教科研究員、指導主事、校長、副校長ほか）
教科用図書調査検討委員会議（PTA、校長、副校長、教育委員会ほか）
教科書展示会
- 7月 教科用図書調査検討委員会議・花巻・北上地区教科用図書採択協議会
- 7月 各市町教育委員会議
- 7月 採択

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104160	教科用図書採択事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	1041A0	学校安全総合支援事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	420		420
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	420		420
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	0	0		0

特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度 ~ 令和2年度
------	-------	------	---------------

部重点施策における目標

事業開始の背景・経緯

事業概要
 推進校の事業支援 420千円
 推進校(2校)を指定し、地域一体となった児童生徒の安全確保を図るための取組を支援
 ・推進校 宮野目小学校、宮野目中学校
 ・取組内容 地域の安全マップ等の活用、学校、保護者及び地域等の連携による学校安全に関する地域理解の促進

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	佐々木 健一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

学校安全総合支援事業 420千円
 消耗品費 419,893円
 文部科学省「学校安全総合支援事業(学校安全推進体制の構築)」
 委託
 岩手県教育委員会「いわての復興教育スクール(内陸)」推進校指定事業
 依頼
 花巻市 宮野目小学校及び宮野目中学校を推進校とする事業計画書を提出

- 【取組内容】
- 地域の安全マップ等の活用
 地域の安全マップ等を活用し、児童生徒自身が自分や地域の安全について具体的に考える機会を設ける。
 - 中学校区で学校安全における地域理解
 学校安全担当者や小中PTA役員、交番の巡査等で情報交換を行い、地域の危険箇所を明確にする。
 - 地域や保護者との連携
 (1) 地区懇談会等で通学路の安全について情報交換を行う。
 (2) 実践協議会と連携して、地域全体で取組を進める。
 (3) 現状の安全マップをもとに、危険箇所についての知識を持ち、対処できるようにする。
 - 学校安全についての理解
 自然災害や交通安全等について、自らの生命や身体を守るための対処について学習する。

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	1041A0	学校安全総合支援事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104900	部活動適正化促進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		3,258	3,007		-251
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	2,118	1,890		-228
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	1,140	1,117		-23

特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

教育環境の充実

事業開始の背景・経緯

H30年に国及び県から示された部活動に関するガイドラインに則り、成長期の生徒の部活動と休養のバランスを取ることや教員の負担を軽減して本来業務の生徒と向き合う指導に専念できる職場環境を整えることが課題となっているためこの事業を開始した。(H30は学校業務改善調査研究事業として実施)

事業概要

部活動指導員の配置 3,007千円
実技指導や大会引率を行う部活動指導員を中学校に配置 10校に23人

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	佐々木 健一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

H29年6月市議会定例会で、照井省三議員の一般質問に対して教育長が「教職員のワーク・ライフ・バランスに配慮して部活動等の適正化を推進してまいりたい」と答弁している。
R1年6月市議会定例会で、伊藤源康議員の一般質問に対して教育長が「市内全中学校に部活動指導員を配置できるよう学校を支援していく」と答弁している。

事業手法の詳細1

部活動適正化促進事業 3,007千円

- 1 部活動指導員の配置
 - 報酬 2,836,000円
 - 旅費 170,717円



令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104900	部活動適正化促進事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104930	学校地域協働連携事業

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	4,607		4,607
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	1,318		1,318
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	0	3,289		3,289

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標
教育環境の充実

事業開始の背景・経緯
「学校」「地域」「連携」がキーワードの3つの事業（「学校地域連携事業」「学校図書館支援事業」「小中連携強化事業」）を統合することにより、地域全体で子どもの成長を支える環境づくりを推進する。 また、平成29年3月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により努力義務とされた「学校運営協議会」を設置する学校（コミュニティ・スクール）の推進を図る必要がある。

事業概要
学校地域連携 2,017千円 地域コーディネーターを配置し、地域と学校の連携・協働による学習支援活動を実施 学校図書館巡回支援 2,562千円 学校図書館支援員を配置し、各小中学校を巡回しての図書整備及び利用等の運営に関する助言指導を実施 小中連携実践 28千円 小中連携教育実践校を指定し、9年間を見通した教育活動の取組を支援

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	佐々木 健一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1									
学校地域協働連携事業 4,607千円									
<table border="0"> <tr> <td>学校地域連携事業</td> <td>統合</td> <td>【学校地域協働連携事業】</td> </tr> <tr> <td>学校図書館支援事業</td> <td></td> <td>地域全体で子どもの成長を支える環境づくりを推進</td> </tr> <tr> <td>小中連携強化事業</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	学校地域連携事業	統合	【学校地域協働連携事業】	学校図書館支援事業		地域全体で子どもの成長を支える環境づくりを推進	小中連携強化事業		
学校地域連携事業	統合	【学校地域協働連携事業】							
学校図書館支援事業		地域全体で子どもの成長を支える環境づくりを推進							
小中連携強化事業									
1 学校地域連携 2,017千円 運営委員会委員謝礼 33,000円 教育活動支援 1,984,180円 ・地域コーディネーター謝礼 1,717,000円 ・消耗品費 267,180円									
2 学校図書館巡回支援 2,562千円 学校図書館支援員報酬 2,360,983円 巡回公用車燃料費 32,367円 巡回公用車借上料 168,480円									
3 小中連携実践 28千円 消耗品費 28,000円									
<p>コミュニティスクール「学校運営協議会制度」とは 学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための仕組み （主な役割）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。 ・学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べることができる。 ・教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べること 									

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104930	学校地域協働連携事業

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	02	01	104190	小学校施設維持事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		605,420	59,803		-545,617
財源内訳	国費	133,514	4,435		-129,079
	県費	0	0		0
	地方債	447,500	18,300		-429,200
	その他	1,800	0		-1,800
	一般財源	22,606	37,068		14,462

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	~	令和5年度
------	-------	------	-------	---	-------

部重点施策における目標

教育環境を充実する

事業開始の背景・経緯

良好な学習環境と安全・安心な学校運営を図るため、施設の維持管理・長寿命化を図る。

事業概要

施設修繕（消耗品及び原材料） 677千円
 施設修繕、維持、更新に係る修繕部品等の購入及び補修資材（タイル、セメント、塗料等）の購入
 設備設置等業務 20,559千円
 設備の維持、更新及び改修
 プールろ過装置更新、放送設備更新、高圧引込柱移設・撤去、法面改修工事仮設設計及び地質調査
 病害虫防除業務 2,948千円
 病害虫防除、支障木伐採及び草木収集処分
 校舎等維持補修工事及び設計業務 35,619千円〔うち繰越明許費 13,178千円〕
 長寿命化調査、非構造部材耐震化工事、法面改修工事

担当部署	51100000 教育委員会 教育企画	担当課長	小原賢史
------	---------------------	------	------

意見・要望等の状況

各学校からの施設要望

事業手法の詳細 1

- 施設修繕（消耗品及び原材料） 677千円
 施設修繕、維持、更新に係る修繕部品等の購入及び補修資材（タイル、セメント、塗料等）の購入
- 設備設置等業務 20,559千円
 設備の維持、更新及び改修
 大迫小学校プールろ過装置更新 8,470千円
 宮野目小学校放送設備更新 5,060千円
 八重畑小学校放送設備更新 2,915千円
 八幡小学校高圧引込柱移設・撤去 1,683千円
 八幡小学校法面改修工事に伴う仮設設計及び地質調査 2,431千円
- 病害虫防除業務 2,948千円
 病害虫防除、支障木伐採及び草木収集処分
- 校舎等維持補修工事及び設計業務 35,619千円〔うち繰越明許費 13,178千円〕
 桜台小学校長寿命化調査 4,367千円
 湯本小学校（校舎）非構造部材耐震化工事実施設計 2,827千円
 八幡小学校法面改修工事 5,688千円
 八幡小学校法面改修付帯（仮設工）工事 9,559千円
 南城小学校（校舎）非構造部材耐震化工事設計 2,255千円〔繰越〕
 南城小学校（校舎）非構造部材耐震化工事 10,923千円〔繰越〕

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	02	01	104190	小学校施設維持事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	02	02	104970	小学校学習用端末整備事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	38,893		38,893
財源内訳	国費	0	36,044		36,044
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	0	2,849		2,849

特定財源の内訳					

事業期間		単年度繰返		期間限定	令和2年度 ~ 令和2年度
------	--	-------	--	------	---------------

部重点施策における目標
教育環境の充実

事業開始の背景・経緯
文部科学省の「GIGAスクール構想」に基づき、児童生徒1人1台端末を整備する。

事業概要
児童用タブレット端末の購入 38,893千円 児童が使用する学習用タブレット端末及びソフトを整備

担当部署	51150000 教育委員会 学務管理	担当課長	八重畑 亘
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1
小学校学習用端末整備事業費 38,893千円
1. 整備台数 3,996台
2. 事業費
10節 消耗品費 38,893千円 (1) 学習支援ソフト(デジタルドリル教材) 38,893千円
【R2 R3繰越】
17節 学習用端末購入費 258,933千円 (1) 児童用タブレット端末 176,044千円 (2) ソフトウェア関連 46,845千円 学習者用基本ソフト 12,000千円 Webフィルタリングソフト 17,395千円 授業支援ソフト 17,450千円 (3) 設定作業 36,044千円

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	02	02	104970	小学校学習用端末整備事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	02	02	104A00	小学校教育環境充実事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	18,171		18,171
財源内訳	国費	0	16,671		16,671
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	1,500		1,500
	一般財源	0	0		0

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返		期間限定	令和2年度 ~ 令和2年度
------	--	-------	--	------	---------------

部重点施策における目標

教育環境の充実

事業開始の背景・経緯

新型コロナウイルスへの感染リスクを最小限にしながら学校を再開し、十分な教育活動を継続するため、感染症対策を徹底しながら児童生徒の学びを保障するための教育環境を整備する。

事業概要

大型モニター及び書画カメラの購入 18,171千円
教室における3密対策として、空き教室等を活用して授業を実施する場合に必要なICT機器を整備

担当部署	51150000 教育委員会 学務管理	担当課長	八重畑 亘
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

--	--	--	--

事業手法の詳細1

小学校教育環境充実事業費 18,171千円

1. 対象校
花巻市立小学校17校
2. 事業費
17節 ICT機器購入費 18,171千円
(1) 大型モニター式 11,364千円
50型ディスプレイ、ディスプレイスタンド、HDMIケーブル 91台

(2) 書画カメラ 6,807千円
書画カメラ 91台

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	02	02	104A00	小学校教育環境充実事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	02	02	108570	小学校校内ネットワーク整備事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	189,200		189,200
財源内訳	国費	0	83,561		83,561
	県費	0	0		0
	地方債	0	83,500		83,500
	その他	0	0		0
	一般財源	0	22,139		22,139

特定財源の内訳					

事業期間		単年度繰返		期間限定	年度	~	年度
------	--	-------	--	------	----	---	----

部重点施策における目標

教育環境の充実

事業開始の背景・経緯

文部科学省の「GIGAスクール構想」に基づき、児童生徒1人1台端末に耐えうる高速大容量の校内通信ネットワークの整備に加えて、各教室において端末を充電・保管するための充電保管庫を整備する。

事業概要

校内通信ネットワーク構築等業務委託料（繰越明許費） 189,200千円
児童生徒1人1台の学習用タブレット端末に耐えうる高速大容量の校内通信ネットワークの整備に加えて、各教室において端末を充電・保管するための充電保管庫を整備

担当部署	51150000 教育委員会 学務管理	担当課長	八重畑 亘
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

小学校校内ネットワーク整備事業費 189,200千円（R1 R2繰越）

1. 対象校
花巻市立小学校17校
2. 事業費
12節 校内通信ネットワーク構築等業務委託料 189,200千円
 (1) ネットワーク機器等 75,545千円
 ルーター17台、基幹スイッチ17台、フロアスイッチ49台、PoE給電スイッチ88台、無線アクセスポイント355台、無線ネットワーク管理ソフトウェア、無線LAN認証装置17台、無線LAN最適化装置13台
 (2) 充電保管庫 50,535千円
 端末22台収納 25台、端末42台収納 145台
 (3) 設定作業等 63,120千円
 LAN配線作業、機器・ソフトウェア設定、サーバー構築

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	02	02	108570	小学校校内ネットワーク整備事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	03	01	104240	中学校施設維持事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		281,701	47,935		-233,766
財源 内訳	国費	60,251	13,895		-46,356
	県費	0	0		0
	地方債	213,800	26,800		-187,000
	その他	0	0		0
	一般財源	7,650	7,240		-410

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返		期間限定	令和2年度 ~ 令和2年度
------	--	-------	--	------	---------------

部重点施策における目標

教育環境を充実する

事業開始の背景・経緯

良好な学習環境と安全・安心な学校運営を図るため、施設の維持管理・長寿命化を図る。

事業概要

施設修繕（消耗品及び原材料） 348千円
 施設修繕、維持、更新に係る修繕部品等の購入及び補修資材（山砂、融雪剤等）の購入
 設備設置等業務 3,300千円
 設備の維持、更新及び改修
 放送設備更新
 病虫害防除業務 1,398千円
 病虫害防除、支障木伐採及び草木収集処分
 校舎等維持補修工事及び設計業務 42,889千円〔うち繰越明許費 15,356千円〕
 FF式暖房更新工事、非構造部材耐震化工事

担当部署	51100000 教育委員会 教育企画	担当課長	小原賢史
------	---------------------	------	------

意見・要望等の状況

各学校からの施設要望

事業手法の詳細 1

- 施設修繕（消耗品及び原材料） 348千円
施設修繕、維持、更新に係る修繕部品等の購入及び補修資材（山砂、融雪剤等）の購入
- 設備設置等業務 3,300千円
設備の維持、更新及び改修
湯本中学校放送設備更新 3,300千円
- 病虫害防除業務 1,398千円
病虫害防除、支障木伐採及び草木収集処分
- 校舎等維持補修工事及び設計業務 42,889千円〔うち繰越明許費 15,356千円〕
 南城中学校FF式暖房更新工事設計 2,200千円
 南城中学校FF式暖房更新工事 24,618千円
 東和中学校（屋体）非構造部材耐震化工事設計 715千円
 花巻中学校（校舎）非構造部材耐震化工事設計 3,157千円〔繰越〕
 花巻中学校（校舎）非構造部材耐震化工事 12,199千円〔繰越〕

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	03	01	104240	中学校施設維持事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	03	02	104980	中学校学習用端末整備事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	21,607		21,607
財源内訳	国費	0	21,607		21,607
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	0	0		0

特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度 ~ 令和2年度
------	-------	------	---------------

部重点施策における目標

教育環境の充実

事業開始の背景・経緯

文部科学省の「GIGAスクール構想」に基づき、児童生徒1人1台端末を整備する。

事業概要

生徒用タブレット端末の購入 21,607千円
生徒が使用する学習用タブレット端末及びソフトを整備

担当部署	51150000 教育委員会 学務管理	担当課長	八重畑 亘
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1

中学校学習用端末整備事業費 21,607千円

- 整備台数
2,374台
- 事業費
10節 消耗品費 21,607千円
(1) 学習支援ソフト(デジタルドリル教材) 21,607千円

【R2 R3繰越】
17節 学習用端末購入費 153,567千円
(1) 生徒用タブレット端末 104,587千円
(2) ソフトウェア関連 27,567千円
 学習者用基本ソフト 7,129千円
 Webフィルタリングソフト 10,071千円
 授業支援ソフト 10,367千円
(3) 設定作業 21,413千円

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	03	02	104980	中学校学習用端末整備事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	03	02	104A10	中学校教育環境充実事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	11,782		11,782
財源内訳	国費	0	10,281		10,281
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	1,500		1,500
	一般財源	0	1		1

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	~	令和2年度
------	-------	------	-------	---	-------

部重点施策における目標

教育環境の充実

事業開始の背景・経緯

新型コロナウイルスへの感染リスクを最小限にしながら学校を再開し、十分な教育活動を継続するため、感染症対策を徹底しながら児童生徒の学びを保障するための教育環境を整備する。

事業概要

大型モニター及び書画カメラの購入 11,782千円
教室における3密対策として、空き教室等を活用して授業を実施する場合に必要なICT機器を整備

担当部署	51150000 教育委員会 学務管理	担当課長	八重畑 亘
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

--

事業手法の詳細1

中学校教育環境充実事業費 11,782千円

1. 対象校
花巻市立中学校11校
2. 事業費
17節 ICT機器購入費 11,782千円
(1) 大型モニター式 7,369千円
50型ディスプレイ、ディスプレイスタンド、HDMIケーブル 59台

(2) 書画カメラ 4,413千円
書画カメラ 59台

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	03	02	104A10	中学校教育環境充実事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	03	02	108580	中学校校内ネットワーク整備事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	108,900		108,900
財源内訳	国費	0	49,899		49,899
	県費	0	0		0
	地方債	0	49,800		49,800
	その他	0	0		0
	一般財源	0	9,201		9,201

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	年度	~	年度
------	-------	------	----	---	----

部重点施策における目標
教育環境の充実

事業開始の背景・経緯
文部科学省の「GIGAスクール構想」に基づき、児童生徒1人1台端末に耐えうる高速大容量の校内通信ネットワークの整備に加えて、各教室において端末を充電・保管するための充電保管庫を整備する。

事業概要
校内通信ネットワーク構築等業務委託料（繰越明許費） 108,900千円 児童生徒1人1台の学習用タブレット端末に耐えうる高速大容量の校内通信ネットワークの整備に加えて、各教室において端末を充電・保管するための充電保管庫を整備

担当部署	51150000 教育委員会 学務管理	担当課長	八重畑 亘
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1

中学校校内ネットワーク整備事業費 108,900千円（R1 R2繰越）

- 対象校
花巻市立中学校11校
- 事業費
12節 校内通信ネットワーク構築等業務委託料 108,900千円
 (1) ネットワーク機器等 46,770千円
 ルーター11台、基幹スイッチ11台、フロアスイッチ30台、PoE給電スイッチ46台、無線アクセスポイント232台、無線ネットワーク管理ソフトウェア、無線LAN認証装置11台、無線LAN最適化装置10台
 (2) 充電保管庫 24,836千円
 端末42台収納 79台
 (3) 設定作業等 37,294千円
 LAN配線作業、機器・ソフトウェア設定、サーバー構築

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	03	02	108580	中学校校内ネットワーク整備事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	03	03	104290	大迫中学校校舎改築事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		78,626	61,120		-17,506
財源内訳	国費	0	18,526		18,526
	県費	0	0		0
	地方債	78,100	40,900		-37,200
	その他	0	0		0
	一般財源	526	1,694		1,168

特定財源の内訳

--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	~	
------	-------	------	---	--

部重点施策における目標

教育環境を充実する

事業開始の背景・経緯

大迫中学校は昭和43年に建築された学校で建築後45年が経過し老朽化が著しい状態である。また、改築を前提としており耐震補強を行っていないことから安全確保のため早期に状況を改善する必要がある。

事業概要

屋外環境グラウンド等整備 61,120千円
 グラウンド整備
 暗渠排水整備
 側溝整備

担当部署	51100000 教育委員会 教育企画	担当課長	小原賢史
------	---------------------	------	------

意見・要望等の状況

同一敷地内での改築を行うことから、学校の活動に配慮しながら事業を進める必要がある。学校施設として使用しなくなった場合に他の用途に改修しやすい構造に配慮する。改築促進協議会と協議を進めながら事業を進めていく。大迫地区の市政懇談会において要望がなされている。

事業手法の詳細 1

1. 屋外環境グラウンド等整備 61,120千円

【主な工事内容】

- 側溝整備
- 暗渠整備
- グラウンド舗装
- メッシュフェンス設置

【経過】

- H26年度～ 用地・現況測量
- H27年度～ 基本設計、地質調査、実施設計、屋外環境実施設計
- H28年度～ 道路水路設計、校舎改築 期工事（H29年度まで）
- H28年度繰越～ 屋体解体、屋体改築 期工事（H30年度まで）
- H29年度～ 用地測量・支障物件調査、校舎改築 期工事、校舎解体
- H29年度繰越～ 屋体改築 期工事
- H30年度～ クラブハウス等改築工事
- H30年度繰越～ 屋外環境付帯工事
- R01年度～ 屋外環境舗装新設等整備、屋外照明（外灯）整備、自転車置場整備
- R02年度～ 屋外環境グラウンド等整備

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	03	03	104290	大迫中学校校舎改築事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	06	03	104960	学校給食センター改修事業

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	29,150		29,150
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	27,600		27,600
	その他	0	0		0
	一般財源	0	1,550		1,550

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	~	令和5年度
------	-------	------	-------	---	-------

部重点施策における目標

教育環境の充実

事業開始の背景・経緯

老朽化のため、施設等の不具合が多発しており、このことを原因とする献立変更や作業工程の変更等は、5か所（花巻、南城、矢沢、西南、石鳥谷）、計10日以上となっている。（R1年10月末現在。）
今後、安定的に給食を提供することが困難となる恐れが高まっており、長期的な視点で計画的な改修を行う必要がある。

事業概要

備品購入 29,150千円
石鳥谷学校給食センター食器洗浄機（更新）

担当部署	51180000 教育委員会 学校給食	担当課長	八重畑 亘
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

--

事業手法の詳細 1

学校給食センター改修事業（備品購入：石鳥谷学校給食センター 29,150千円）

- 1 対象施設 石鳥谷学校給食センター
- 2 対象備品 食器食缶洗浄機（平成14年度建築時購入）
- 3 備品の概要 1,500食対応（食器約2,000個、トレー約1,000枚、食缶約150個、食器カゴ50個他）

導入スケジュール

- 4月：見積徴取、設計、現場調整
- 10月：市長協議
- 11月：入札
- 12月：動産買入れの議決
- 3月：機器入替、完了検査

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	06	03	104960	学校給食センター改修事業

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3